ICHIKAWA INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION NEWS - NO.42 Mar.12th 2013

I.I.A.ニュース

市川市国際交流協会（隔月刊）
I.I.A.ホームページ　www.iia21.jp
e-mail:info@iia21.jp

編集発行：市川市国際交流協会 PR 委員会
発行責任者：乙幡　健次
〒272-0021　市川市八幡 2-4-8
Tel 047(332)0100　Fax 047(332)0101

コンテンツ

■IIA こどもにほんご教室（仮称）新設へ　・・・・・・・・・・・・・・・１面
■越谷市・市川市両国際交流協会が交流会を開催・・・・・・・・・・２面
■市川市在住外国人登録者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２面
■インドネシア・メダン市を訪問する高校生代表団　参加者を募集・３面
■春節の横浜中華街訪問記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３面
■第 43 回 IVIS 公開講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４面
■世界遺産を学ぶ②　インドネシア・・・・・・・・・・・・・・・・４面
■JAL 整備工場と中華街春節際バスツアー・・・５面
■会員の集い・・・・・・・・・・・・・・・・　５面
■もちつき大会と日本の正月遊び・・・・・・６面
■イベント情報　訃報・・・・・・・・・・・・６面
■災害時外国人サポーター養成講座に参加して・７面
■編集総記・・・・・・・・・・・・・・・・・・７面
■法人会員紹介　新入会員の紹介・・・・・・８面

日本語を母語としない子ども達のための日本語支援

IIAこどもにほんご教室(仮称)新設へ

IIA 主催の日本語ボランティア教室は現在、市川市内に約 20 あり、数百人の在住外国人が日本語習得のために利用しています。しかしこれらの教室は一部を除き成人学習者を対象としているため、最近増加傾向にある日本語を母語としない子ども達（JSL　＊注）の日本語支援が強く望まれていました。

そこで日本語教室委員会ではこどもにほんご教室準備会を設け、以前から要望が強かった北部地域（総武線沿線）に JSL の子ども達を対象に本格開講する予定で準備を進めています。

注：ＪＳＬ　Japanese　as　a　Second　Language

こどもにほんご教室とは

この教室では外国人小・中学生がスムースな学校生活をおくるために、初歩の日本語から学校活動（給食、掃除、課外活動等）や教科学習に役立つ日本語を勉強します。また、住んでいる町（市川市）を中心とした地域研究、ゲーム等遊びを通してコミュニケーションの訓練も行われます。数年前よりこれらの趣旨に沿った「サバイバル日本語教室」を夏休みの数日間開講し十分な成果を収めています。

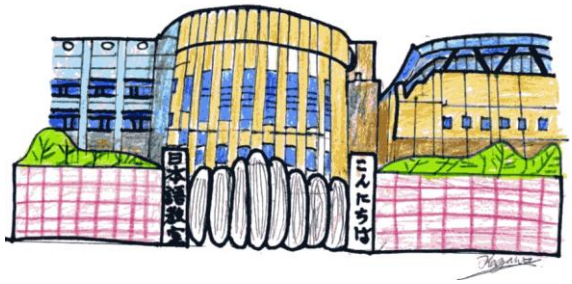
サバイバル日本語教室の風景

ボランティア教師研修会開催

この教室の開設にあたって、3 月には約 20 人のボランティア日本語教師が子どものための日本語指導法とロールプレイをテーマにした研修会を受講し、子ども向け教授法のスキルアップを図ります。

この研修会を修了したボランティアは新設の「IIA こどもにほんご教室」で教鞭を執るのは勿論ですが、更に進んで、日本での生活に溶け込もうとしている外国人子弟を掘り起こすなど、積極的な役割が望まれることになります。

（加澤　和三）



越谷市･市川市両国際交流協会が交流会を開催

越谷市委員から熱心な質問が相次ぐ

埼玉県越谷市国際交流協会（大野光政会長はじめ１５人）のメンバーが２月２２日、市川市国際交流協会（IIA）を訪問。同日午後１時半から市役所委員会室で両協会の交流会が行われました。IIAからは笹本会長、役員、各委員長など１８人、また市・国際交流課から角田課員が同席しました。

両協会会長挨拶のあと、篠原ＰＲ委員が編集したプレゼンテーション画面に沿って「市川市の概要」と「IIAの組織・活動」を説明、中で各委員会委員長がそれぞれの趣旨・生い立ち・主な活動などについて解説しました。

越谷市側からは次のような概要説明がありました。

昭和２９年、１０ヵ町村が合併し市制が敷かれて以来人口が急増し、それに伴い学校、医療施設の増設などに追われている。交流協会は市民会館内に事務所を持ち、事務員２人で運営に当たっているが、市からの補助金が６百万円から４百万円に削減されたこともあり、財政状態は厳しい。

集合写真

委員会はア）総務委員会（国際的な交流事業の円滑な推進を図るための情報提供、例＝年２回の会報発行など）。

イ）都市交流委員会（姉妹都市・オーストラリアのキャンベルタウンとの市民相互派遣など）。

ウ）地域交流委員会（在住外国人との交流を通して、異文化理解や相互交流を深める。例＝外国人による「日本語発表会の開催」など）。このほかに多文化市民委員会（市民まつりの開催など）、青少年育成委員会（年２回、高校生、大学生対象のバスツアーの実施など）が主な活動。

質疑に入り、越谷市側から「４都市との交流事業経費はどのようになっているのか」

「外国人相談窓口はどのように運営されているのか」

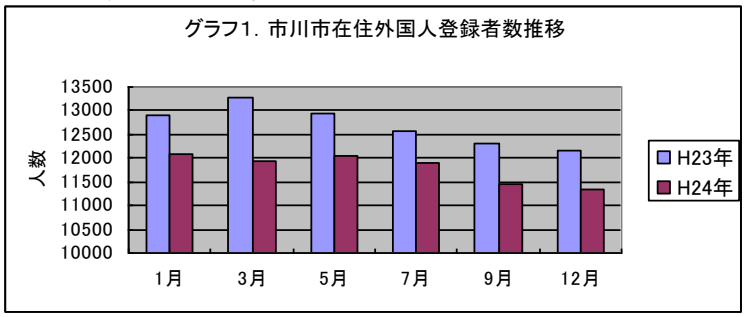
「IIAと市・国際交流課とはどういう関係にあるのか」

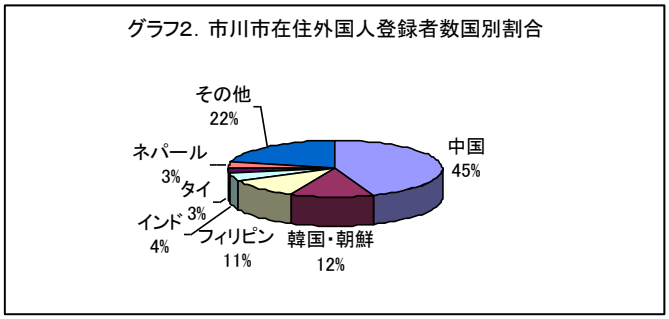
「災害時の対策は？」など質問が相次いで出され、笹本会長、太宰事務局長、各委員長、角田交流課員が対応しました。　午後４時閉会。（乙幡健次）

市川市在住外国人登録者数及び上位10ヶ国の人数　　H25年1月29日現在　（　　）内は前年同月数

①中国	4,992(5,464)	②韓国・朝鮮	1,405(1,580)	③フィリピン	1,293(1,372)	④インド	459(557)
⑤タイ	388(411)	⑥ネパール	357(283)	⑦ペルー	243(277)	⑧米国	230(208)
⑨ベトナム	203(167)	⑩スリランカ	138(183)				
総計	94ヶ国　11,294人　(98ヶ国　12,084人)　市川市総人口　468,442人　(471,456人　)						

外国人数は1年間で約700人減





上のグラフ１を見ると一昨年３．１１東日本大震災の影響もあり、毎月のように減り、過去１年間で約700人の減となった。

また国別人数では、中国が全体の45%、韓国・朝鮮12%、フィリピン11%、この３カ国で外国人数の約70%を占めていることがわかる。

インドネシア・メダン市を訪問する高校生代表団　参加者を募集

市川市国際交流協会と市川市が共催する「メダン市への市川市代表青少団派遣事業」が今年８月に実施されます。その応募資格、応募方法などが以下のように決まりました。順調な経済発展を続けるインドネシアの都市・メダンへ。多数のご応募をお待ちします。

派遣事業説明会が４月１４日（日）午後６時30分、八幡市民談話室５階、第４集会室で開催されます。

☆共催＝市川市・市川市国際交流協会
☆目的＝歴史的建造物を残しながら、商業都市として発展しているメダン市を訪問し、地元高校生、市民の方々との交流を通じ、友好親善の絆を深めるとともに、インドネシアの文化・歴史・生活習慣などについての見識を広めることを目的とする。
☆実施日程＝平成２５年８月１５日（木）～８月２５日（木）同期間内の10日間
☆募集人数＝６名（選考試験があります）
☆参加費＝１５万円程度（市・協会からの補助があるので実際経費よりも低廉）
☆応募資格＝①市川市民で、派遣時に高校在学中であること（学校所在地は市内外を問いません）。②市の青少年代表としてふさわしい者。③派遣終了後も協会事業に積極的に参加できる者
④これまでに市の姉妹・友好都市派遣事業に参加経験がない者。⑤健康状態が良好で、団体行動に不向きでない者。
☆申込受付期間＝平成２５年４月１０日（水）～
５月１０日（金）
☆資料請求先＝募集要項・応募方法・申し込み書類などを希望される方は下記へお申込みください。
◎市川市国際交流協会　〒272-0021　市川市八幡2-4-8
八幡市民談話室６階　TEL047-332-0100　Fax047-332-0101
または
◎　市川市文化国際部国際交流課
〒272-0023　市川市南八幡4-2-5
いちかわ情報プラザ２階　TEL047-300-8051　Fax047-300-8061
☆申込書類の提出先＝市川市国際交流協会（住所は上記）

春節の横浜中華街訪問記

楽山委員会

２月10日は、中国では春節、日本では旧暦の正月にあたります。楽山市委員会の有志メンバーで春節に賑わう横浜の中華街に行ってきました。家族連れだけでなく、ワンチャンも加えた楽しい一行となりました。

お昼過ぎに中華街に着きましたが、やはり春節、しかも日曜日とあってすごい人出に驚きます。メインストリートだけでなく裏通りもお土産を売る店も人で溢れ、どこのレストランも大勢の人が並んでいます。このままではいつまでも食べられないと、一つの店に並び、40分ほど待ってやっと席に着くことができました。小龍包を中心に美味しい中華を堪能、本場の味に皆は並んだ疲れも忘れ大満足でした。

「関帝廟」の前では４時から採青(サイチン)と呼ばれる春節の伝統行事が始まりました。中国獅子が新年を祝うとともに、各店の商売繁盛や五穀豊穣を祈り、店先に吊るされたご祝儀の紅包(ホンパオ)をくわえ取って踊ります。横浜中華学校の国術団の青年達が踊ります。

この踊りをめがけて大勢の人が集まり押すな押すなの大騒ぎ。獅子舞は一軒ずつ回って、人波もそれに合わせて移動します。我々のグループもいつの間にかバラバラにはぐれてしまい、携帯電話で連絡を取りながらやっとのことで無事に落ち合うことができました。中国の文化に触れることは出来ましたが、沢山の人に酔って疲れる一日となりました。（逸見総一郎）

関帝廟の春節飾り

第４３回IVIS公開講座

市川ボランティア通訳の会（ＩＶＩＳ）主催。2月17日（日）男女共同参画センター会議室で。60人参加

チェンバースさん、ジャマイカの多彩な文化を語る。

第４３回IVIS公開講座がカリブ海に浮かぶジャマイカ出身のGarcia Chambers氏をお迎えして行われました。2003年に高校の英語教師として来日。現在は多摩大学、その他の学校で英語教育に携わっていらっしゃいます。

天賦の知性と広範な知識、更に自由闊達な気風こそまさにジャマイカの文化に基づくものだとそのプレゼンテーションから知ることとなりました。

さとうきびのプランテーションの労働力として西アフリカから多くの人々が奴隷として連れて来られた歴史に始まり、紆余曲折を経て、1961年に完全に英国の支配からの独立を達成した過程が美しい英語で興味深く語られました。

ジャマイカと聞くとコーヒー好きはまずブルーマウンテンを思い浮かべ、スポーツ好きは陸上のウサイン・ボルドを、音楽好きはレゲエを。

そして最後に披露されたそのレゲエの「３羽の小さな鳥」の詞の内容は「小さなことにくよくよするな、朝が来れば朝日が微笑む、唄って憂さを吹き飛ばそう・・」とまさにジャマイカの文化そのもので、胸が暖かくなりました。レゲエのダンスも披露して下さる筈でしたが、時間切れで残念でした。（村上幸子）

会場いっぱいの参加者

昨年１２月の第１回に続く世界遺産シリーズの第２回は、インドネシアの世界遺産です。世界遺産検定マイスターである野澤順治先生をお迎えし、２月７日（木）１４時から中央公民館第一会議室で開催しました。今回も多くの方の参加があり満席となりました。このテーマへの関心の深さが窺えます。

インドネシアの遺産の話に入る前に、世界遺産の登録に至るまでの前提条件、登録手順、要件についての解説がありました。前提条件として申請する国が世界遺産条約を締結していること、予め世界遺産委員会の暫定リストに記載されていること、不動産であること、申請国の国内法で保護されていることがあります。登録手順は、専門機関の調査に基づき世界遺産委員会で審議されます。今年の６～７月に富士山と鎌倉が審議されますが、昨年の９月に専門家が調査を行ったとのことです。登録の要件は１０ある登録基準を最低１件満たしていることが必要です。登録に至るまでには時間と費用がかかり、必ずしもどの国でも申請できるとは限りません。また、一度登録されても基準から外れる状況（環境悪化、景観変化など）が発生すると登録抹消となることもあります。事実オマーンのアラビアオリックス（動物）保護地区、ドイツのドレスデン・エルベ渓谷が抹消されています。

インドネシアの世界遺産といえばボロブドゥールの遺跡が一般的に有名ですが、この遺産を含み全部で８つの世界遺産があります。①ボロブドゥールの仏教寺院群（１９９１年、文化遺産、８～９世紀の傑作寺院群）、②プランバナンの寺院群（１９９１年、文化遺産、ボロブドゥールと並ぶ傑作寺院群）、③コモド国立公園（１９９１年、自然遺産、世界最大のコモドオオトカゲ）、④ウジュン・クロン国立公園（１９９１年、自然遺産、絶滅危惧種のジャワサイ）、⑤人類化石出土のサンギラン遺跡（１９９６年、文化遺産、１００～２００万年前のジャワ原人）、⑥ロレンツ国立公園（１９９９年、自然遺産、ニューギニア島の手つかずの自然と先住民族）、⑦スマトラの熱帯雨林遺産（２００４年、自然遺産、世界一大きな花スマトラオオコンニャク）、⑧バリ州の文化的景観：トリヒタカラナの精神を象徴するスバックの水利システム（２０１２年、文化遺産、人間、神、自然の調和を重んじるトリヒタカラナの精神を象徴する棚田での水を分け合うシステム）。

市川の姉妹都市であるメダンに近いのは、⑦のスマトラ熱帯雨林です。このオオコンニャクは７年に１度しか花を咲かせず、咲くのもわずか２日間なのです。小石川植物園で開花したことが話題になりました。ただ２０１１年の危機遺産にリストアップされて、その存続が危ぶまれています。質問コーナーでは、参加者からの体験談も披露され、バラエテイ豊かな９０分でした。次のシリーズが楽しみです。（山本　怜）

JAL整備工場と中華街春節祭バスツアー

異文化交流委員会＆日本語教室委員会

晴れ上がった冬空の2月17日（日）15カ国45人の仲間が定刻の9時に目的地へ向かって出発しました。今回は2委員会の合同のツァーの為、参加応募者は100名以上になり、抽選漏れの方が多数いた中で、当日5名のドタキャンが出たことは誠に残念でした。遠くに見える美しい富士山を見ながら、恒例のスケジュール説明と自己紹介で知り合いになり、バスは進みます。私たちはこのツァーで初めての冒険を試みました。それは、春節祭の最も多い人出の祝舞遊行が行われる中で、外国の方々に自由行動をしてもらうことです。先ず参加者に中華街の地図と注意書（英語・中国語・日本語）を渡し、各人の携帯にツアーリーダーの携帯番号を登録してもらいました。結果は後ほど。

羽田整備場

一方バスはＪＡＬ整備工場へつきました。ビルのオリエンテーション室で空港の概要や、飛行機は何故飛ぶのかなどのレクチャーを受け、人気のＪＡＬの制服のレプリカを試着でき皆大喜びでした。

ヘルメットを被り、広大な格納庫に降り、大きな航空機や、実際に空港に離着陸する航空機を見ることができ、時の経つのを忘れる程の大興奮でした。

そして空港を後に中華街に。駐車した場所を確認し、ＩＩＡの旗を持つ先導者と共に、関帝廟に、まずは全員で向かいます。春節ということもあり、物凄い群衆です。関帝廟で解散自由行動としました。初めて孫をお使いに出すような心境でハラハラ・ドキドキでした。心配はさておいて、まずは食事をして、お土産を買いました。パレードは実に華やかで賑やかでエキゾチックで、正に日本の中の外国です。しっかり春節祭を満喫できました。さーて、自由行動の結末は。すごい、駐車場に皆さんにこにこしながら時間通りに戻ってきます。多少迷子になった人、遅くなった人も出ましたが、全員で定刻5分過ぎにバスは出発出来ました。大成功。

16時市役所に帰着しました。心配しながらも、楽しかったー。（衣川龍太郎）

会員の集い

ガーデナー市委員会

３月６日（水）市民談話室集会室で「会員のつどい」を開催しました。平成２４年度の活動報告、会計報告の後、２５年度の事業計画につき自由に議論しました。春名委員長から２４年度はガーデナ市との姉妹都市提携５０周年にあたり、相互訪問や５０周年記念誌の発行で成果をあげることができたとの報告がありました。

特に５０周年記念誌は５０年間の交流のあゆみが記録として残る資料として作成意義があったとの声が多く出ました。２５年度は夏のガーデナ市青少年の受け入れ、礼法講習会、世界遺産講習会（南米・カナダ編）、大使館訪問などを計画することとしました。会員からは、予算が厳しい中、活動費を自前で捻出する方法の模索、都市交流５委員会共同での事業の実施による経費の有効活用と参加者数の増加、市との連携による効率的な活動の推進などの意見が出されました。　（山本　怜）

「市川市･ガーデナー市姉妹都市50年の歩み」記念誌発行

市川市と米国カリフォルニア州ガーデナ市の姉妹都市提携５０周年を記念して、ガーデナ市委員会では「市川市・ガーデナ市姉妹都市５０年の歩み」と題する記念誌を発行しました。大久保市川市長、ポールＫタナカ・ガーデナ市長、笹本ＩＩＡ会長、ロージー　ナバロ　ガーデナ市姉妹都市協会長のお祝いの言葉、昨年７月の市川市訪問団のガーデナ訪問、１１月のガーデナ市代表団の来市、交流に携わった方々の思い出、５０年の歴史を示す年表、学生相互訪問による青少年交流などを掲載しています。発行部数は５００部で、市川市、市議会、ＩＩＡ各委員会、ガーデナ市へ配布されました。

もちつき大会と日本の正月遊び

異文化交流委員会

１月20日寒いながらも晴天のもと、待望の「もちつき大会」。場所は1100年の伝統ある葛飾八幡宮の参道。日本のお正月気分を味わうのに、こんなにぴったりしたところはありません。そこに150人以上の仲間が大集合。まず神社に参拝。今年一年が健康でありますように、幸せに過ごせますように。

そして始まりました。待望のもちつき。会員の皆さんが前日から蒸すだけまでに用意したもち米を持ち寄り、さあ蒸しあがりました。みんなでかわるがわるペッタン、ペッタン。あんなにあったもち米も、あっという間につきあがり、タイ風味ピーナッツ、タイ風味ココナッツミルク汁粉、南米風味チリソース、そしておなじみ日本風味のお汁粉、きな粉、辛み大根の６フレイバーで楽しみました。

大久保市長も忙しい中、短時間ではありましたが、駆けつけてくれました。

第２ラウンドは日本の伝統的正月の遊び特集。しかも会場は古民家です。かるた、福笑い、そして投げ扇（センスを飛ばして、２ｍくらい先にある的を倒し、その落ちた扇の様子から点数を競う）。

琴の優雅な生演奏が加わりました。

そして、そして子供達には本格的着付けによる着物体験。沢山の友達が綺麗で、優雅な着物を着て大満足。

集まってくれた皆さん、ありがとうございました。そしてなんといっても、もちつきの準備と、沢山の子供たちに着付けを手伝ってくださった方々、本当にお疲れさまでした。（篠原　剛）

イベント情報（3月～5月）

◆「真間・郭沫若記念館見学」（楽山市委員会）

日時：　３月２３日（土）

詳細は後日お知らせします。

申込み：逸見総一郎(TEL/FAX:047-333-7412or e-mail sytc.hemmi@nifty.com)

中国人の社会人・留学生と一緒に、沫若氏の記念館、芳澤ガーデンギャラリー、手児奈霊神堂、真間山、弘法寺を見学。

◆「中国語通訳・翻訳勉強会」（通訳・翻訳委員会）

日時：３月２４日（日）１３：３０～１５：３０

場所：　八幡市民談話室

問い合せ：　栗田（Tel：047-323-3041 夜間のみ）

◆世界遺産を学ぼう！　（ローゼンハイム市委員会）

「ドイツ連邦共和国」編

日時：　４月５日(金)　１４：００～１６：００

場所：　中央公民館　第一会議室(葛飾八幡宮隣)

講師：　野澤　順治先生

(世界遺産アカデミー認定講師　世界遺産検定マイスター)

会費：　無料

申込み：井上　(Fax:　047-322-4686)

定員：　45名

映像を楽しみながら、素晴らしい世界遺産を味わえます。

◆「お茶と着付け」（バディーズ）

日時：４月１０日（水）１０：００～

５月８日（水）１０：００～

場所：　男女共同参画センター　和室

対象：　外国人及び付き添いの日本人

事前連絡：　加藤（Tel：047-322-7855）

◆　「手作り小物」　（バディーズ）

日時：５月１７日（金）１０：００～１３：００

場所：　駅南公民館第３研修室

持ち物：　はり、はさみ

参加費：　５００円

要事前連絡：　山本（Tel：047-332-6570）

◆　中国語研究会

日時：５月２６日　１３：３０－１５：３０

場所：談話室集会室（２）

新会員歓迎

申込み：栗田スミエ　（Tel：　047－323-3041『夜間』）

訃報

土田武義さん　ＩＩＡ会員、通訳翻訳委員会委員、ＩＶＩＳ会員。

３月２６日、心臓発作のため死去。７８歳。

土田さんはＩＩＡに諸事業に積極協力されたばかりでなく、ＩＶＩＳ創立後間もなくから同会員となり、長年にわたり役員を務められました。

吉岡愛子さん　ＩＩＡ会員、日本語教室委員会講師。

３月４日死去、６５歳。

吉岡さんは日本語教室の講師として活躍されましたが、ここ数年はガンのため闘病生活を続けていらっしゃいました。

災害時外国人サポーター養成講座に参加して

「東日本大震災」のような大災害が発生した時、ことばの壁から外国人に情報が伝わりにくかったり、文化的な違いなどから避難所で生活トラブルが起きたりするなど問題が生じることが予想されます。そうした災害時に備えて、地域の外国人を支援するボランティアを養成する講座が、1月19，26日の二日間、千葉県の主催で千葉市ビジネス支援センター（キポール）で開催され、県下から沢山の熱心なサポーターが参集しました。

あれから2年、今我々にできることは

まずNPO多文化共生マネージャー全国協議会の高橋信行理事から「災害時に外国人が直面する課題とボランティアの役割」について話がありました。阪神大震災で、外国人がどのように被災して、どのように過ごしたのか。災害時に外国人が直面する壁とは何なのか。災害時の外国人支援って？災害時外国人支援のカタチは？など貴重な体験から生まれてきた対処法を理論的に説明されました。

その後、「外国人から見た支援について」元新潟県通訳ボランティアで、30年前ブルネイから来日した邵（しゅう）麗子さん、別名を「バクダン麗子さん」から、ボランティアに行った現場での事例を紹介しながら、いったい被災した外国人はどのような支援を求めていて、我々災害ボランティアは何ができるのかについて、生々しく、ダイナミックにお話し頂きました。最後に「外国人は発信しないと集まって来ない。減災活動でも、被災してからでも。待っていてはだめ」と締めくくりました。

2日目は同じく高橋理事から「災害多言語支援センターについて」説明がなされ、その後、市原市を震源として、震度6強の地震が発生したという想定のもと、「他言語支援センター」を開設し、運営する訓練に入りました。県警からも2人参加し、まず必要な情報を収集、翻訳しました。その情報を持って、3人一組で避難所を訪問します。何とこの時、この薄暗い仮設避難所には、あらかじめ被害の状況が説明されている30人の外国人に、実際の避難民となって頂いていました。苦労をねぎらい、何をして欲しいかを聞き、こちらのもっている情報を知らせる。そしてセンターに戻り、報告書を作成して後日の違うグループによる同一被災者訪問に役立てる。

二日間にわたる中身の濃い講習会でした。ここで実感したのは、本当にこのような災害が発生した時は自分も被災者。そんな自分に何がどこまでできるのだろうかという不安。考えさせられる有意義な講習会でした。（篠原　剛）

編集総記

エッ？　編集ソウキ？　そうです。編集後記に代わる総記です。その訳は、不肖私がこの三月でPR委員長の職務を交代するにあたり、在任中の「手前味噌ソーカツ」を試みることになったためです。委員長を命じられたのは四年前の四月でした。さらにその二年前、山本英夫先輩にロ説かれてPR委員をお受けし、当時年三回発行の会報を何とか軌道に乗せた時分でした。

◎　年六回発行に。

ＩＩＡ「ニュース」と名乗るからには、少なくとも隔月刊にしなくては、との思いがあり、平成二十一年度から年六回の発行に踏み切りました。その時の太宰事務局長が一瞬、苦渋の表情を浮かべたのを覚えています。当時から事務局は予算不足でヤリクリに大わらわ。会報制作の外注費、郵送費も事務局経費から支出されているものですから・・・

当時の委員会は、編集企画、原稿作成、ラフなページレイアウト案作りまでが主な仕事で、あとの原稿打ち込み、割り付け、印刷、折りなどは全て印刷社任せ、（封入作業は委員会）従って事務局費がかなりの額に上りました。

◎　人材に恵まれ、脱業者、編集三グループ制を実現！

「オール自前作戦」は、パソコン上で原稿を打ち、画面でページごとにレイアウトする作業から始めました。試行錯誤はあったものの、委員会メンバー井上、吉田、鈴木（礼）、中田、村上（佐）各氏に加え、二十三年ころからＩＴに強い篠原、加澤、山本（怜）、そして佐藤、鈴木（ケイ）永長、村上（幸）、狭川各氏が相次いで参画（一部交代）されたことにより、プラン－原稿作り－編集－印刷－封入－発送の一連作業を総て委員会内で消化、に成功しました。

それと並行して、委員を3グループに分け、それぞれにヘッドを置き、プランから印刷までを交代で担当、これにより委員一人ひとりの実力が存分に発揮され内容の充実が図られています。

◎　ＩＩＡらしい会報とは

これまで四年間のプラス面ばかりを記しましたが、それ以上に未熟な部分が山ほどあります。大局的にはＩＩＡ会員のための新聞として不満足な点、例えば市川市に住んでいる外国籍の方たちへの情報発信力、会員のニーズに応えているか、などが挙げられます。この号でいえば、日本語教室委員会が外国籍の子供たちのための教室を設置することとなった、一方では大災害時に備えて、地域の外国人を支援するためのセミナーが県主催で開催された、が載っています。こうした在住外国人に対する日常生活、防災対策への支援の必要性をこの会報がもっと後押しすることが必要ではないか、などです。（乙幡健次）

法人会員紹介（11）

市川市日中友好協会

昭和53年4月1日設立、目的は日本・中国両国民の相互理解と親善を深め、世界の繁栄と平和に貢献する。

現在までの交流事業としては、①毎年訪中団を組織して中国各地を訪れ現地市民との交流を図る。
②訪日団及び留学生、企業研修生へのサポートと交流。
③千葉県日中友好協会を始め関係団体事業活動への参加。
④中国映画鑑賞会、市川市在住の中国オペラ歌手崔岩光さんのコンサート開催等で中国文化の理解と普及を深める。
等が挙げられる。

特に市川市と姉妹都市を締結した四川省楽山市との交流は締結当初から現在まで続いており、多くの会員が楽山市を訪問したり、楽山市からの来訪団が有るときは歓迎会等に参加して親善に務めている。

以上主な活動になりますが、ここ数年会員の減少が激しく又高齢化のため積極的な活動を出来ないのが現状です。

日中関係は今非常に厳しい状況ですが、市川市国際交流協会の活動に協力をして今後も日中友好に務めたいと思います。　　会長　大川原　常雄

新入会員の紹介（10月～2月）

氏名（敬称略）	国籍	性別	使用可能言語	希望委員会	趣味・特技など
邊牟木（へむき） 廣海（ひろみ）	日本	男		ガ ロ	博物館、美術館の見学＆旅行
蝦名（えびな） 由美子（ゆみこ）	〃〃	女	ポルトガル	日 通 異	語学の勉強、書道 テニス
森口（もりぐち） 愛子（あいこ）	〃〃	女		日	読書
岩村（いわむら） 紀子（のりこ）	〃〃	女	韓国	通	韓国の二胡、ヘグム、ギターの弾き語り
Baldueza、Joy Vincent Escobar	フィリピン			異	読書 スポーツ
田島（たじま） 伸浩（のぶひろ）	日本	男	中国	楽 通	料理 中国語 数学
安藤（あんどう） 広樹（ひろき）	〃〃	男	中国	通	
明石（あかし） 敏男（としお）	〃〃	男	フランス	通 異	海外旅行 音楽鑑賞 水泳
竹村（たけむら） 浩治（ひろはる）	〃〃	男	タイ	通	タイ語 水泳
五関（ごせき） 肇（はじめ）	〃〃	男		通	サッカー 読書
ヘイダリ モルド	イラン	女		外	
中寺（なかでら） 博（ひろし）	日本	男	英語	ガ メ ロ ホ 通 異 外	英会話 ジョギング サイクリング 登山 写真撮影
高橋（たかはし） 愛子（あいこ）	〃〃	女		ガ 楽 メ ロ ホ	
原村（はらむら） 邦彦（くにひこ）	〃〃	男		異 外	登山 和太鼓 太極拳 ガーデニング 異業種 旧暦 中国語
古谷（ふるや） 緑（みどり）	〃〃	女	フランス	日 通 異	着付け 俳句
魏 鳳 英	中国	女	中国	楽 通 異 外	
小倉（おぐら） 光枝（みつえ）	日本	女		ガ	
西松（にしまつ） 暁子（あきこ）	〃〃	女	英語	ガ 楽 メ ロ ホ 日 通 異 外	英語
松村（まつむら） 順代（のぶよ）	〃〃	女	英語 フランス	日 通	クラシックギター

委員会略称

ガ＝ガーデナ　楽＝楽山　メ＝メダン　ロ＝ローゼンハイム　ホ＝ホームステイ
日＝日本語教室　通＝通訳翻訳　異＝異文化交流　外＝外国人